

平成 30 年度 近畿税理士会会長賞

税金を支払う理由

平群町立平群中学校 三年 高間 朱里

私の父は町役場で働いています。そこで以前、税金を支払わない人から税金を徴収する仕事をしていました。なので、私は、税の作文を書くために父から話を聞くことにしました。

父が最も強調して話したことは、税金を支払わない人、つまり滞納者のことです。

税金を支払ってください、と言っても支払わなければ、財産の差押えをしなければならぬそうです。差押えをされた人は、泥棒、警察を呼ぶぞ、と様々な暴言を吐いたり、中にはカミソリを送ってくる人などもいたそうです。

税金を支払うのに大反対し、怒る人もいるのに、なぜ税金を支払うことが義務になっているのか、気になって調べてみました。すると、税金は様々な場所や方法で私たちの生活を支えているのだと分かりました。例えば、ゴミ処理、信号機の設置、道路、救急車両の購入などがありました。これらが無かったら、私の周りではゴミが溢れ、交通事故が起り、助かるはずの命まで奪われる、そう考え、私は初めて、税金が持っている大切な役割が分かりました。

しかし、まだ、危険な目にあってまで滞納者から税金を徴収する意味が分かりません。あまりにも頑固な滞納者は放っておけば良いのではないか、ほとんどの人がきちんと支払っているなら足りるのではないか、そう疑問に思い、再び父の話に耳をかたむけると、その理由が分かりました。

それは、不公平だからだそうです。仮に一人の滞納者を、あなたはもう税金を支払わなくて良いですよ、と許したとする。すると、きちんと税金を支払っている人まで、あの人だけずるい、私も払わない、と不公平感を抱き、滞納者になってしまう。そうなる困るから、どんなに怒鳴られても脅迫されても負けられない、と教えてくれました。

それを聞いて私は、たくさんの役場の人々が努力して収集した税金を無駄遣いしてはいけないと思いました。だから、教科書を大切に使い、学校ではきちんと勉強し、水は適切に使おうと思います。

私はこれまで、税金は高いから払いたくないと思っていましたが、今は税金の大切さが分かったので、支払わなければならないと思います。そして、滞納者の人も税金の大切さが分かれば、私のように考えを改める人もいないかと思いました。そのために、税金の使い道についてたくさんの人に教えることが必要だと思います。

私は、将来税金を支払わないといけなくなったときには、安全で快適な生活ができるように、きちんと税金を支払おうと思います。